

## 中間検査チェックシート

建物概要	1	建築確認番号				
		建築確認年月日	平成	年	月	日
	2	建築場所				
		建築主氏名				印号
	3	工事監理者	資格	一級・二級・木造 建築士		印号
		監理者氏名				印号
	4	工事施工者	登録	年	知事・大臣 一般・特定	印号
		現場代理人氏名				

### 集団規定等の検査

各項目について、下記日付にて適合を確認しました。

検査項目	内 容	工事監理記録	手直し の 有・無	確認日付	備考
		A:目視検査 B:計測検査			
敷地の安全性 (法19条、条例 3,4条)	01 がけ・壁等の安全性	A・b	有・無		
	02 切り土・盛土の状況	A・b	有・無		
敷地と道路の 関係 (法42条、43条)	01 前面道路の幅員の確認	A・b	有・無		
	02 接道長さの確認	A・b	有・無		
	03 敷地内通路・専用通路の幅	A・b	有・無		
	04 2項道路の後退部分の確認	a・B	有・無		
	05 法43条許可条件との整合	a・B	有・無		
敷地面積、容 積率、建ぺい率 (法52条、53条、 54条の2)	01 敷地形状の確認	a・B	有・無		
	02 確認申請図面の平面図との照合 (平面プランの確認)	A・b	有・無		
壁面後退等 (法54条)	01 建物配置の確認 (敷地境界線からの建物の後退距離 の確認)	a・B	有・無		
道路斜線等 (法55条、56条、 58条)	01 確認申請図面の立面図との整合 (各部分の高さの確認)	a・B	有・無		
	02 和規定適用の場合の後退部分の 外構制限及び前面道路との高低差 等の確認	a・B	有・無		
	03 庇又は軒の高さの確認	a・B	有・無		
確認表示板の 設置(法89条)	01 確認表示板の設置及び記載内容の 確認	A・b	有・無		
その他					

工事監理記録については、工事監理者が記入すること。ただし、法第5条の4(工事監理者を定めなくてよい規模・構造の工事)により工事監理者がいない場合は建築主と現場代理人の連名にて記入すること。

工事監理記録の検査方法については、アルファベット大文字を優先して行うこと。  
該当なし部分については、斜線にて見え消しすること。  
中間検査チェックシートを以って、中間検査申請書第4面に替えることができる。

## 基礎、軸組等の検査

各項目について、下記日付にて適合を確認しました。

検査項目	内容	工事監理記録	手直しの有無	確認日付	備考
		A:目視検査 B:計測検査			
全体	01 柱、はり、壁、床の位置の確認	A・b	有・無		
	02 木材の品質(節・腐れ等)の確認	A・b	有・無		
基礎・地盤	01 種類(布・ベタ・その他)の確認	A・b	有・無		
	02 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	03 床下換気口(又はこれに替わるもの)の確認	A・b	有・無		
	04 基礎のひび割れの確認(地盤の不同沈下)	A・b	有・無		
土台	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 接合部の確認	A・b	有・無		
火打材	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 隅角部設置の確認	A・b	有・無		
アンカーボルト	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 アンカーボルト配置、緊結の確認	A・b	有・無		
柱	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 欠込み部補強の確認	A・b	有・無		
	04 接合部の確認	A・b	有・無		
横架材	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 接合部の確認	A・b	有・無		
	04 構造耐力上支障のある欠込みの確認	A・b	有・無		
筋かい等	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 欠込み部補強の確認	A・b	有・無		
	04 接合部の確認	A・b	有・無		
	05 耐力壁配置の確認	A・b	有・無		
床組	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 床板又は床下地の確認	A・b	有・無		
	04 床高さ(又は床下防湿)の確認	a・B	有・無		
	05 防蟻措置の確認	A・b	有・無		
	06 防蟻措置の確認	A・b	有・無		
小屋組	01 形状・寸法の確認	a・B	有・無		
	02 材質の確認	A・b	有・無		
	03 必要な振止めの設置状況の確認	A・b	有・無		
	04 たるき接合部の確認	A・b	有・無		
その他					

工事監理記録については、工事監理者が記入すること。ただし、法第5条の4(工事監理者を定めなくてよい規模・構造の工事)により工事監理者がいない場合は建築主と現場代理人の連名にて記入すること。

工事監理記録の検査方法については、アルファベット大文字を優先して行うこと。  
 該当なし部分については、斜線にて見え消しすること。  
基礎配筋時の写真を添付すること。

### 検査機関記入欄

指摘事項等	
総合判定	適 ・ 否